

## 「こどもMaaS」の試験走行結果と 実証実験の再開について



### 1. 試験走行の結果について

令和7年11月12日（水）につくば駅周辺で実証実験を行っていた低速自動運転モビリティ「こどもMaaS」が、つくばカピオのスロープ手すりに接触した事案（別添：11月13日付けプレスリリース）を受けて、接触の原因であった衛星測位精度の低下に対する再発防止策として、車両側面に接近センサーを追加しました。

また、対策後の技術的な安全性および妥当性を確認するため、12月13日（土）から16日（火）まで、乗客を乗せずに公道（ペDESTリアンデッキ）で試験走行を実施しました（別添：12月10日付けプレスリリース）。その結果、衛星測位の精度に関わらず、車両側面に障害物が接近した際に、減速・停止動作が正常に作動し、実証実験の再開に向けて必要な対策が施されたことを確認しました。

- 【対策】・車両側面への接近センサー（片側3カ所、計6カ所）設置  
・安全マージン（検知範囲）を車両側面より80cmに設定

### 2. 実証実験の再開について

1.の結果を受け、当初の予定どおり、以下の日程で自動走行（レベル2）の実証実験（使用機体：「YADOCAR-i ドライブ」）を再開します。詳細は添付チラシをご覧ください。

- 【日程】 令和8年1月15日（木）～1月26日（月）（予定）  
9:00～11:00 / 11:30～13:30 / 14:00～16:00  
運休日：1月20日（火）、21日（水）  
※試乗車の状況や天候等のやむを得ない事情により、内容を変更・中断・中止する場合があります。

- 【乗降場所】つくばセンター広場⇄つくばカピオ前  
※上記2区間を往復走行します（所要時間：往復約20分）

- 【乗車方法】乗車場所に直接お越しください（予約不要、無料）

## つくば市記者会 御中

発信日：令和7年（2025年）11月13日（木）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術戦略課

☐取材依頼 ☐周知依頼 ☐募集告知 ☒その他

# 「こどもMaaS」の走行中に発生した接触について

11月5日よりつくば駅周辺で実証実験中の低速自動運転モビリティ「こどもMaaS」が、試乗者2名を乗せて時速3キロメートルでつくばカピオのスロープを走行していた際、同施設のスロープ手すりに接触する事案が発生しました。

なお、この事案によるけが人はいません。

### 【日時】

令和7年11月12日（水）14:30ごろ

### 【発生場所】

つくばカピオ（竹園1丁目10-1）

ペDESTリアンデッキ側スロープ手すり

### 【接触の状況】

相手側（つくばカピオ）：スロープ手すり下部にすり傷あり

「こどもMaaS」車両：車両右側下部にすり傷あり

### 【接触の原因】

11月12日（水）正午ごろより走行に使用している衛星信号の捕捉が何らかの原因により不安定になり、補正信号の切替えを行うなど対策を講じたところ、車両に異常な挙動は認められなかったため、運行を継続した。事案発生場所で車両が方向を転換する際、軌道がやや内側に寄っていたが、運転者は接触しないと判断したためブレーキを踏む対応ができず、内輪差により接触した。

### 【対応状況】

つくば市は、受託者の東海クラリオン株式会社に対し、適切な対策が講じられるまで運行を取りやめるよう指示し、安全・安心な運行を徹底するよう、強く申し入れました。なお、実証実験を再開する際は、市ホームページなどでお知らせします。

## 「こどもMaaS」接触事案の調査結果と再発防止策に基づく試験走行の実施について

つくば市は、令和7年11月12日（水）14:30ごろ、つくば駅周辺で実証実験を行っていた低速自動運転モビリティ「こどもMaaS」が、つくばカピオのスロープ手すりに接触した事案（別添：令和7年11月13日付けプレスリリース）を受けて、原因究明等の調査を実施してきました。

調査の結果、事案当日に発生した強い太陽フレアに起因する衛星測位精度の低下、ならびに車両側面の範囲を検知する接近センサーの不備が要因と考えられることが判明しました。これを踏まえ、再発防止に向けた対策の検討を行いました。

このたび、検討した対策の技術的な安全性及び妥当性の確認を目的に、乗客を乗せず、公道（ペDESTリアンデッキ）で試験走行を実施します。

**【日時】** 令和7年12月13日（土）～12月16日（火）（予定）

※天候等の状況により、走行しない日があります。

**【場所】** ペDESTリアンデッキ（つくばセンター～つくばカピオ前）

**【対策】**

- 車両側面の接近センサーを追加・最適化して搭載
- 運行ルートにおける安全マージン設定の見直し
- 衛星測位精度が低下した際の車両の挙動（低速運転／停止）の見直し

**【検証項目】**

- 車両側面の範囲を検知する接近センサーの搭載台数・配置の最適化
- 障害物接近時における車両挙動（減速・停止等）の確認など

**【今後の対応】** 本原因究明結果を真摯に受け止め、再発防止に努めるとともに、今回の調査で得られた知見及び経験を今後の「こどもMaaS」事業運営に反映し、安全な運行の確立に取り組んでいきます。

# ペDESTリアンデッキ 自動運転モビリティを 体験しよう！

2025.11/5 水 ~ 16 日  
2026.1/15 木 ~ 26 月

※運休日：11/10(月)・11(火)、1/20(火)・21(水)



後のせ自動運転システム  
**YADOCAR-i**  
ドライブ

つくば市、JAXA、東海クラリオン株式会社、  
つくばまちなかデザイン株式会社の  
共同で運行しています。



## 買い物帰りや親子でのお出かけに！

自動運転で日常生活をサポートする「こどもMaaS」の  
実現を目指した実証実験を行っています。  
時速3km～最高10kmで障害物を避けながら自動運転走行します。



誰でも無料で乗車できますのでお気軽にご利用ください！



乗車/降車場所

つくばセンター広場

約10分 ↑ ↓ 約10分

つくばカピオ前

予約不要。乗降場所に直接お越しください。

定員数 最大3名

運行時間 9:00~16:00

※運行時間が変更になる場合がございます

料金 **無料！**



↓ 運行状況はこちらから ↓

※試乗車の状況や天候などのやむを得ない事情により、  
内容の変更・中断・中止となる場合があります。  
※走行エリア内では写真や動画撮影が行われません。  
YADOCAR-iドライブの活動報告として、  
ホームページやSNS及び各種印刷物に掲載される場合が  
ありますので、あらかじめご了承ください。



主催：つくば市

発行元/お問い合わせ：つくばまちなかデザイン株式会社

E-mail：info@tsukumachi.co.jp



## ----後のせ自動運転システム

### YADOCAR-iドライブについて----

自動運転は高額で導入が難しいという課題に対して、既存車両を活用し用途を特定することで、離島や地方においても持続可能な低コスト化を実現する自動運転モデルです。

後のせ自動運転システム  
**YADOCAR-i**  
ドライブ



## ----自動運転について----

内閣府が提供するMADOCAR-PPP（マドカピーピーピー）という準天頂衛星からの情報と、JAXA(ジャクサ)が開発するソフトを使ってクルマの位置や方位を求めています。また、建物や樹木があって衛星からの電波が届かない場では、クルマの動きや向きが分かるセンサーや、障害物を見つけるセンサーを使います。



自動運転は、特定条件やドライバーによる監視の可否によって、国土交通省がレベル1～5の区分を定めています。今回の実証実験ではドライバーによる監視を必要とするレベル2で行います。

## ----実証実験について----



建物や樹木が多い場所では、衛星からの信号が建物で跳ね返ったり樹木にぶつかったりして、正確な位置が分からなくなることがあります。今回の実証実験では、つくば市の三次元地図を使うことで、衛星から直接届いているデータを選び、センサーを効率よく使えるようにして、自動運転に活用できるかどうかを確認します。

## 皆さまのニーズをお聞かせください！

つくば市では、つくば駅周辺をはじめとした市内の移動を支援する目的で、低速自動運転モビリティの社会実装を目指しています。試乗会場では、社会実装のためのアンケートも実施しています。低速自動運転モビリティの安全性へのご感想や行ってみたい場所など、皆さまのお声をお聞かせください。

